



ご
婚
礼
の
し
お
り



京都洛北一乗寺 八大神社
Hachidai Jinja



静寂

比叡山の麓の豊かな自然に囲まれた
厳かな二人だけの特別な空間...





神々のまなざし

すきのおのみこと いなだひめのみこと
御祭神の素戔鳴命と稲田姫命は
出雲で劇的にめぐり会い御結婚された事から、
縁結び、夫婦和合の神さまとして信仰を集めます。





詩仙堂での写真撮影

八大神社から徒歩 1 分

八大神社の鎮座する京都洛北地域の豊かな自然環境や歴史文化に深く触れていただくため、挙式にあわせて洛北屈指の名利名園である詩仙堂丈山寺でのご参拝及び写真撮影をお薦めしております。

※撮影の難しい時期、撮影の諸条件、お納めいただくお供え料など詳しくは八大神社までお問い合わせください。



八大神社

御祭神

す さの おのみこと
素戔鳴命
いな だひめのみこと
稲田姫命
はち おう じのみこと
八王子命
(五王子・三王女)

由緒

創建について不詳ですが、旧記から永仁二年(1294)に八大天王社が勧請された事を神社の年表のはじめとしております。

京都洛北一乗寺地区の鎮守社であり、祇園八坂神社と御同神をお祀りし、北天王(北の祇園社)とも称され、京の表鬼門に位置し、方除、厄除、縁むすび、学業の神様として、古くから多くの人々の崇敬を集めております。

後水尾天皇、霊元天皇、光格天皇、修学院離宮行幸の際にお立寄り、白銀等御奉納がございます。剣聖宮本武蔵が、神社境内地である「一乗寺下り松」に於いて吉岡一門と決闘し、決闘の前に奉拝した武蔵ゆかりの神社としても知られ、境内には決闘当時の「下り松」古木がお祀りされています。現在の御本殿は、流造社殿 総尾州檜造りで、大正15年に造営されました。

比叡山の麓に鎮座し、大きな御神木や豊かな自然に囲まれた境内は、新緑や紅葉の季節はひときわ美しく京の四季を感じることができます。

歳時記

1月 お ひ まちさい
御日待祭 (1月14日)

2月 せつぶんやくよけおはらいしんじ
節分厄除大祓神事 (2月3日)

3月 くさもち ご く さい
草餅御供祭 (3月3日)

4月 しんきゅうさい
神弓祭 (4月第一日曜日)

5月 よいみやさい
宵宮祭 (5月4日)

うじ こまつり
氏子祭 (5月5日)

7月 さ な ぶり さい ゆ たて しん じ
早苗振祭湯立神事 (7月上旬)

8月 な ごし おおはらいしんじ
夏越大祓神事 (8月7日)
はっさくさい てっせんおん ど ほうのう
八朔祭 鉄扇音頭奉納 (8月31日)

10月 くり ご く さいしゅうき ゆ たて しん じ
栗御供祭秋季湯立神事 (10月上旬)

11月 かみおきはかまぎ おびとき ご く さい
髪置袴着帯解御供祭 (11月3日)



節分厄除大祓神事



神弓祭



氏子祭



早苗振祭湯立神事



八朔祭 鉄扇音頭奉納



式次第

一. 修祓 しゅばつ

祭儀に先立ち、お祓いをお受けいただきます。

一. 祝詞奏上 のりとそうじょう

齋主が祝詞を奏上し、新郎新婦が夫婦になる事を奉告し、お二人の末永い幸せをお祈り致します。

一. 三献の儀 さんこんのぎ、三三九度の盃

新郎新婦が大小の盃で互いに御神酒を飲み交わす事により、夫婦の契りを固めます。

一. 誓詞奏上 せいしそうじょう

新郎新婦に神前にて誓いのことばを読み上げていただきます。

一. 新郎新婦玉串拝礼

しんろうしんぶたまぐしはいれい

新郎新婦が神前に進み、感謝と祈りを込めて玉串(榊の枝に紙垂をつけたもの)を奉り、二拝二拍手一拝の作法でお参りいただきます。

一. 親族代表者玉串拝礼

しんぞくだいひょうしゃたまぐしはいれい

ご両家代表者各1名が神前に進み、玉串を奉り、二拝二拍手一拝の作法でお参りいただきます。参列者も起立し、代表者にあわせて二拝二拍手一拝の作法でお参りいただきます。

一. 指輪の交換 ゆびわのこうかん

新郎が新婦の左手薬指に、次に新婦が新郎の左手薬指に贈ります。

一. 親族固めの盃

しんぞくかためのさかずき

新郎新婦とご両家一同が起立一礼し御神酒を同時にいただき、新しい親族の契りを結びます。



誓詞奏上の見本

平成 年 月 日と吉日と
定の最々八大神社の皇大神の
大前に於て私達夫婦の契りと
結び堅むるは尊き神慮によれる
ことと意ひなかり今より後
千代に八千代に相睦に相親し
かりそめに末永く夫婦の道に違
ことなく互いに輔翼して家政と
整へ世のため人のために励み
努めることを誓ひ奉る
(新郎姓名)
(新婦姓名)





八大神社での挙式

豊かな鎮守の杜に囲まれ、静かに挙式をされたいお二人には最適な環境です。

一日の挙式組数…… ゆったりとした結婚式をお挙げいただく為、1日最大2組までの受付と致しております。

参列人数…………… ご参列人数はご両家各13名以内です。ご友人等のご見学についても可能です。

衣装等の手配…………… 新郎新婦様ご自身で、衣装・写真撮影などのご手配をお願いしております。神社指定の会社の取決めはございませんので、ご自由に依頼いただけます。また神社から挙式関連の会社をご紹介します事も可能です。

持ち込み料…………… 衣装・写真撮影などの持ち込み料はいただいております。

控室について …… 新郎新婦、ご両家親族の控室として参集殿広間(約30畳)をご使用いただいております。

着付け場所…………… 神社での着付けの場合、着付け室(2部屋、共に8畳)をご使用いただけます(使用料5千円)。また外部から着付け後ご来社いただく事も可能です。

撮影について…………… 挙式中の御本殿での写真及びビデオ撮影については基本的に可能です。神職からの諸注意事項をお守りいただき、参列者が自席より著しく離れて撮影する等は禁止しております。



申込方法、挙式までの予定

神社下見

- ・下見について、神社祭典時等を除き午前10時頃～午後4時頃まで可能ですので、お電話・e-mail等でご予約の上ご来社下さい。
- ・神職が御本殿(挙式場所)及び参集殿(控室)等をご案内し、また挙式の詳細や空き状況等をご説明致します。

挙式ご予約

- ・挙式候補日(1日)をお電話等で仮申し込みいただく事も可能です。その場合、1週間程予定を押さえます。
- ・本申し込みはご来社いただくか、必要事項を申込用紙にご記入いただき、FAXもしくは郵送にて送付願います。挙式関連の会社を通じてお申し込みいただく事も可能です。
- ・本申し込みは、挙式の1ヶ月前までをお願い致します。尚、参列人数が不確定の場合、1週間前までにご連絡願います。

挙式当日

- ・挙式30分前までにご参集ください。
- ・参列の皆様は参集殿(控室)にてお祝いの昆布茶をお出し致します。
- ・神職より新郎新婦様に対し進行のご説明を行います。あわせて式中に奏上される誓詞をお渡しし、新郎新婦様にご署名いただきます。
- ・指輪の交換を執り行われる場合、指輪をお預かり致します。
- ・挙式5分程前に参集殿前に整列し、巫女の方により御本殿に向かいゆっくりと参進します。(整列順序：新郎新婦を先頭に、父・母・兄弟・親族、等)
- ・挙式の所要時間は約30分です。



挙式初穂料について

初穂料

35,000円

含まれる内容

御本殿での挙式(神職、巫女奉仕)
控室(参集殿)の使用
参集殿での昆布茶接待
新郎新婦様への御下がり
(御神札、御守、立て大絵馬等)

追加料金

- ・着付け室使用料 5,000円(メイク直しなど短時間の利用の場合は無料)
- ・雅楽生奉奏 25,000円

※初穂料は、挙式日前に、もしくは当日の挙式前に、お納め願います。

※初穂料のお納めは、新郎新婦様から直接、もしくは挙式関連の会社を通じてのどちらも可能です。

その他

- ・お車は、神社境内に5台程、徒歩すぐの駐車場に5台程、駐車可能です。
- ・挙式中止される場合は、なるべく早急にご連絡ください。(キャンセル料を請求する事はございません)



はち だい

八大神社 Hachidai Jinja

〒606-8156

京都府京都市左京区一乗寺松原町1番地

電話: 075-781-9076

FAX: 075-712-4499

HP: <http://www.hatidai-jinja.com>

Mail: hatidai@f8.dion.ne.jp

交通アクセス

-  阪急電車・京阪電車・叡山電鉄
 叡山電鉄「一乗寺駅」より徒歩10分
-  JR・京都市営地下鉄・タクシー
 地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」よりタクシーで10分
 地下鉄烏丸線「北大路駅」よりタクシーで15分
-  バス
 京都市営バス(5・北8系統)
 京都バス
 「一乗寺下り松町」より徒歩7分
-  自動車
 名神高速道路
 「京都東インターチェンジ」より約30分
 「京都南インターチェンジ」より約40分
 阪神高速道路
 「鴨川西インターチェンジ」より約30分
※詩仙堂拝観と共通の有料駐車場あり。
 ※結婚式や御祈禱でお越しの方は無料で駐車可能
 (神社境内約5台、駐車場約5台)